

隠岐の島町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に関する意見書に対する回答

|       |    | 意見   | 回答  |
|-------|----|--|---|
| No.1  | 全体 | 全体の体裁について、読みやすい、分かり易い計画書とするために、文字は「明朝体、12p」を基本とすべきだと思います。  | フォントについては、広く公表する計画という認識のもと、やわらかい字体である「HG丸ゴシックM-PRO」を採用しています。<br>文字サイズについては、町民の方が読みやすい計画となるよう、11.0ポイントとしています。また、見出しを太字にし、読みやすいように工夫致します。   |
| No.2  | 全体 | 「図」「表」について、文字が小さい等のために読めない、判らない箇所が多すぎます。多分コンサル等が持ち合わせたPC作製ソフトをそのまま利用したために起こる現象かも？隠岐の島バージョンの体裁にすべきと、思います。こうした「図」「表」を、「見てください、読んで下さい」と言われても、困惑します。パブコメ実施に向かう配慮が足りないと、感じました。<br>特に、p18、p19、p27、p34、p43、p49、p51、p54  | 図表の文字については、基本的に「HG丸ゴシックM-PRO 11ポイント」とし、整合を図っていますが、文字のサイズについては極力読みやすいサイズにします。  |
| No.3  | 全体 | 理解出来ない「単語」が随所にあります。難解な単語は、欄外に「注釈」を添えるべきだと思います。<br>例・p21（集団回収量）p24（集団回収事業）<br>p27（低位発熱量）p32（最終処分量）  | ご指摘のとおり、欄外に注釈いたします。   |
| No.4  | 全体 | 全ての部分で、増減となる要因についてコメントを明記すべきと、思います。  | 現時点では、増減の要因については、理由が明確でない内容もあるため、可能な限り明記します。  |
| No.5  | 目次 | 過ぎた10年を振り返って、現有の計画（前計画）の達成度等を検証総括されたと思います。その結果を記載する必要があると思いますが、それが記載されていません。<br>新計画は、その検証、総括に立脚した計画でなければなりません。そうしないと、計画の継続性が問われます。<br>そこで、p6 「第5節 本計画における評価・改善」の次に「第6節 前計画期間の評価」を設けて、前計画の期間における取り組みが、どうであったか、その結果、何がどのように改善されたか、どのような課題が残ったか、等について記述する必要があります。 | 前計画の検証・総括が必要とのご指摘を受けて、P1「計画策定の趣旨」のL10以下を、「これまで前計画で明記した、ごみ減量化目標を達成するため、ごみ減量化施策を周知徹底し、本町としてごみの減量化施策を推進してきましたが、本町を取り巻く社会経済的状況や町民一人ひとりの消費行動等の変化もあって、前計画で掲げたごみ減量化目標の達成は難しい状況となっています。前計画から9年が経過し、本町の廃棄物行政を取り巻く状況が厳しさを増す中、これまでの取組の不十分さについては真摯に反省し、昨年3月に実施したごみアンケートで得られた結果や町民の方々のさまざまな声も踏まえながら、中長期的視点に立って新たな計画を策定し、それを直ちに実行に移していく必要があります。」と加筆修正いたします。 |
| No.6  | 名称 | 「前計画」、「本計画」という表現は、煩わしいと思います。この際「第一次基本計画」「第二次基本計画」というような名称にしたらどうでしょうか？<br>「第二次一般廃棄物処理基本計画」  | ご指摘のとおり、修正いたします。  |
| No.7  | 1  | L2 「第6条第1項」「第6条第1項及び第2項」が正しい。<br>L4 「ごみ減量化施策、ごみ減量化目標等を検討し」表現が足りないと思います。<br>ここには、6条第2項に規定された5項目を記述する必要があります。  | 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、「一般廃棄物基本処理基本計画」の策定義務明記されているのは、第6条第1項であり、第2項は、「一般廃棄物処理計画」で記載すべき内容が整理されています。<br>そこで、ご指摘に準じて「第6条」に改めます。   |
| No.8  | 5  | 体系図が判りにくいです。図の中に太線、細線、破線の三種がありますが、それぞれ、何を示すための線でしょうか？少なくとも説明文に沿った図になっていない？   | 判りやすくするため、体系図を改めます。   |
| No.9  | 6  | L最下 継続的に評価・改善を行います。<br>前計画の検証評価が必要です。  | ここで記載している「継続的に評価・改善を行います」とは、本計画について示しているものであり、前計画は該当しません。<br>なお、本計画は、毎年度作成する、「実施計画」を用いて評価を行い、中間目標年度には、必要に応じ、改善を行うこととなります。   |
| No.10 | 10 | 「老人人口」は「高齢者人口」が正しい<br>「老人人口の割合」は「高齢化率」が正しい。  | ご指摘のとおり、修正いたします。  |
| No.11 | 11 | 2. 産業・・・。<br>この計画策定に、この「項目」が必要か？<br>産廃の関係で、掲載が必要であるなら、「水産業」「商工業」についても記述が必要です。  | 産業について、「ごみ処理基本計画策定指針」では、産業構造、従業者人口、事業所数及び土地利用状況等について整理することが求められているため、内容を一部変更致します。   |

|       |       |   |  |
|-------|-------|---|--|
| No.12 | 13    | 第3節 都市環境<br>何を記述するための項目でしょうか？中味は「土地利用」だけですか？<br>計画策定に必要なアイテムでしょうか？  | 見出しを「土地利用」に改めます。   |
| No.13 | 15    | 表3-1-1 表3-1-2 共に、文字が小さいです。  | 文字の大きさを変更します。  |
| No.14 | 16    | 3) 最終処分場の概要・最終処分場 「の概要」は不要<br>「竣工」・「稼働開始」の方が、理解出来ると思います。  | ご指摘のとおり、修正いたします。   |
| No.15 | 19    | 見出し「ごみ排出量の実績」<br>「ごみ排出量の状況」の方がいいと思う。  | ご指摘のとおり、修正いたします。   |
| No.16 | 19    | 集団回収量何故「0」か？<br>「集団回収」の体制、システムが、有るのか、無いのか？<br>無いのであれば、この欄は不必要では、少なくとも「0」表示は不適當です。「未実施」とか「システムなし」とか。斜線引くとか。  | 「集団回収量が計上されていない理由としては、ご指摘のとおり、集団回収を実施する体制が確立されていないことが挙げられます。」と付記いたします。<br>また、表現については、ご指摘を踏まえ、修正致します。   |
| No.17 | 20    | 事業系ゴミ（収集）「0」を表記する事の意義？<br>事業系ゴミを収集するシステムがあるのか、無いのか？<br>無いのであれば、この欄は不必要では？<br>少なくとも「0」表示は不適當であり「未実施」とか「システムなし」とか斜線引くとか。  | 事業系収集ごみが計上されていない理由としては、ご指摘のとおり、事業系ごみの収集は実施されていないことが挙げられます。<br>また、表現については、ご指摘を踏まえ、修正致します。   |
| No.18 | 21    | (3) 直接搬入ごみ量<br>事業系ゴミ 資源ゴミ「0」について何故、そうなのか、事業者が分別をしていない為か？<br>それともほかに？その原因についてコメントを記述する必要があるのでは？  | 「※事業系資源ごみが計上されていない理由としては、直接搬入される資源ごみは、家庭系と事業系が混在して搬入するケースが多くあり、集計する上で、全て家庭系として集計しているためです。」と欄外に注釈します。<br>なお、今後は、リサイクル率のデータ管理上、必要と考えられるため、集計方法を検討致します。 |
| No.19 | 23    | 表3-1-10・・・<br>*字が小さくて読めない。<br>*「原単位」・・・「高い、低い」が正しいか？「多い、少ない」が正しいのでは？<br>原単位は、「程度」とか「率」ではなく「量」を示す数値じゃないかな？   | 表現については、ご指摘を踏まえ、修正致します。  |
| No.20 | 25    | ゴミ質調査結果表3-1-12<br>*表題「ゴミ質の状況」がいいと思う。<br>表から認識出来ること、何を読み取るか、を明記すべきと思います。<br>何がどのくらい、何が少ないとか、10年前に比べてどうだ、とか。<br>例えば、水分率47%と組成の紙布53%の関係とか水分が多すぎるとか？紙布の割合が高いとか？                                     | 表題はご指摘のとおり、「ごみ質の状況」に修正します。<br>表から認識できることの解説については、5年間で大きな変化が認められないため、明記を割愛させていただきます。  |
| No.21 | 25    | 文中L3～L5の文意が読み取れません。<br>高力ローリー化が進行したら、何がどうなるのでしょうか？  | 「高力ローリー化が進行し、ごみ処理施設における設計基準を超えている場合は、施設への負荷が高く、傷みやすい状態になっていると考えられます。」と付記します。   |
| No.22 | 25    | 単位容積重量 この数値から何を読み取ればいいのか？   | 「単位容積重量は、水分が多いごみ等の場合に大きくなり、紙類及びプラスチック類の含有量が増えるほど小さくなります。」と注釈いたします。   |
| No.23 | 27    | 焼却処理量<br>p21の数値との関係が知りたい。<br>焼却量と、排出量の差は何か？<br>その差が多いのがいいのか？少ないのがいいのか？  | 現在の本町で言う排出量は、施設（島後清掃センター及び島後リサイクルセンター）に搬入された量を言い、焼却処理量は、島後清掃センターに搬入され焼却処理した量を言います。<br>排出量：可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの合計<br>焼却処理量：可燃ごみ及び島後リサイクルセンターからの処理残渣   |
| No.24 | 27～32 | 見出しの文言の整理が必要ではないでしょうか？<br>7) ゴミ処理・処理量の実績 ⇒ ゴミ処理量及びごみ処理経費の状況<br>(1) p29 焼却処理量<br>(2) p30 再資源化施設処理量 ⇒ 再資源化処理量<br>(3) p31 リサイクル率<br>(4) p32 最終処分率 ⇒ 最終処分量<br>(5) p33 埋立容量<br>8) ゴミ処理経費の実績 ⇒ ゴミ処理経費 | 一般的に、中間処理施設（本町で言う、島後清掃センター及び島後リサイクルセンター）で処理する量は、「処理量」とし、最終処分場（本町で言う、島後一般廃棄物最終処分場）で処分する量は、「処分量」として整理します。<br>なお、見出しの表現等については、ご指摘を踏まえ、一部修正致します。         |

|       |       |  |  |
|-------|-------|--|--|
| No.25 | 28    | 再資源化の量が減少することは良くない事と思うので、その要因を明記すべきです。   | 現時点では、理由が明確でないため、減少の要因については、今後、調査していきたいと考えています。  |
| No.26 | 28    | 表3-1-13 「単位」欄が欠落しています。   | ご指摘のとおり、修正いたします。   |
| No.27 | 29    | 「総資源化量」「総再資源化量」が正しい？<br>リサイクル率 この率は、他と比べて高い？低い？<br>減少の要因についてコメントが必要です。   | 資源化量の文言については、「ごみ処理基本計画策定指針（平成28年9月）」と整合を図っています。<br>また、リサイクル率に係る他都市との比較については、P36「図3-2-3 リサイクル率における県内の市町村、県平均及び全国平均の比較」に記載のとおりです。<br>なお、リサイクル率が他都市と比べて低い要因としては、集団回収を実施する体制が確立できていないこと等が挙げられます。 |
| No.28 | 32    | 最終処分量<br>処分率 これは何を知るための「率」でしょうか？<br>高ければどうなの 低ければどうなのか？  | 「最終処分率は、排出量のうち、どの程度、最終処分（最終処分場に埋立処分）しているかを示す値です。」と欄外に注釈します。  |
| No.29 | 32    | 経費の表<br>この表を掲載する意義は概ね理解出来ますが、単位は「千円」が適当でしょうか？私は「百万円」単位で十分だし、その方が見やすい、理解しやすい、と思います。それと、本町に関係しない項目があります（「O」表記）<br>この項目は削除すべき・・・と思います。<br>必要と思うなら、表中ではなく、欄外に「これこれの項目は本町には該当しないため、項目の掲載を割愛しています」と書く。<br>（例）「組合負担金」   | 単位は、一般的に「千円」で整理するため、本計画においても「千円」単位で整理したいと考えています。<br>また、本町に関係のない項目を記載していることについては、修正致します。  |
| No.30 | 33~35 | 課題を探るための他自治体との比較について<br>（1）比較対象を、県内町村のみ（11団体）にした方が、グラフも見やすくなるし課題が、より具体化すると思います。市を加えるなら、せいぜい安来 江津？<br>例えば、家庭系ごみ原単位だと、人口2万人以下の表にすれば、かなり分かり易くなります。  | 比較対象については、県内の実態を情報提供することが必要との考え方から、県内市町村の比較とさせていただきます。<br>ご指摘の内容については、表の形式を改めてより判りやすいよう表に修正します。  |
| No.31 | 33~35 | （2）それぞれにおいて、他自治体に比べて、高い低い、多い少ない、が明確になりますが、その要因と考えられるものを、ここでしっかり明記しなければ、計画策定の意味がありません。肝心なのは、課題の明確化とその要因ではないでしょうか？   | 現時点では、理由が明確でない内容もあるため、増減の要因については、現行の記載内容に留めます。今後、調査していきたいと考えています。  |
| No.32 | 34    | リサイクル率<br>「今後、リサイクル率の向上を図る必要があります」<br>このような無味乾燥的な表現は何の役にも立たないと思います。<br>「全国平均や県平均に比べてかなり低い数値ですが、これの主な要因は～～～であると考えられるので、分別収集の徹底強化、再資源化奨励事業等の導入等により、向上を図る必要があります。」的な文章を望みます。  | ご指摘により、文章を修正します。   |
| No.33 | 35~36 | 「（6）島後清掃センターの経年的劣化」の前に、次の2項目を追加すべきではないでしょうか？<br>ゴミ減量化 及び経営の合理化には絶対不可欠だと思います。<br>（7）分別収集体制の推進<br>別途「分別計画」に定めるのであれば、その旨を明記すべきです。<br>（8）民間委託（民営化）の推進<br>リサイクルセンター、学校給食センター、広域連合の仁万の里 等、首長の英断で民営化が実現しています。<br>ゴミ処理事業においても、①収集業務、②処理業務に分けて民営化推進計画を立案すべきと思います。 | ご指摘により、修正いたします。  |
| No.34 | 36    | 「経年的劣化」単に「老朽化」ではいけませんか？<br>厳密に言えば、「施設設備の老朽化」ですね。   | ご指摘のとおり、修正いたします。   |

|       |       |  |  |
|-------|-------|--|--|
| No.35 | 36~37 | <p>7. その他の課題<br/> そもそも現状把握の段階で、何も明記しないで、いきなり「その他の課題」が出てくるのは不自然だと思います。</p> <p>ここでいきなり明記するなら<br/> 「7. 廃棄物処理行政を取り巻く様々な社会環境から見える課題」くらいではないでしょうか？<br/> ただ、それぞれの説明内容は、量的なこと、頻度のこと等が明記されていないので、課題としては、極めて具体性に欠けると思います。<br/> 「課題」というよりも「問題」のレベルではないでしょうか？<br/> 文章表現にしても、「必要があります」なら、まだ許容範囲ですが「検討します」とは<br/> どう言う意味でしょうか？それは「答弁」でしょう。</p> | ご指摘のとおり、修正いたします。   |
| No.36 | 38~53 | <p>第4章……全体を整理する必要があると感じました。この部分が本計画のコアになりますが、いったい、どこに何が網羅されているか、とても難解な構成だと感じました。</p> <p>課題整理をうけて、計画が出来上がるわけですが、p35～p38の課題は、ゴミ原単位（家庭&amp;事業）リサイクル率 最終処分率 処理経費 その他 と六つの項目について、他町村との比較において整理されました。このことと、p39～57の内容（下記の項目）はリンクしていると思えません。私には、理解ができません。</p>  | 本計画の構成は、「ごみ処理基本計画策定指（平成28年9月）」に基づいて策定する計画であるということから、全体の構成を編成しておりますので、ご理解ください。                  |
| No.37 | 39    | <p>1. 基本理念<br/> 内容は「基本方針」になっているが、「理念」と「方針」は同義語ではない、と思いましたが……。</p>  | 表現については、ご指摘を踏まえ、修正致します。  |
| No.38 | 41    | <p>「処分内訳」表4-3-1<br/> この表の内容は、「処分内訳」ではなくて、「目標年度における推計数値」ではないでしょうか？<br/> つまり、何もしなかったら、10年後には、「こうなる」という推計表ではありませんか？それとも「10力年計画表」ですか？</p>  | <p>表現については、一部修正します。</p> <p>また、「表4-3-1 処理内訳」で記載している値（平成36年度及び平成41年度）は、ごみ減量化施策を講じた場合の値となります。</p> |
| No.39 | 46    | <p>第5節<br/> 内容的に、現状説明や課題設定に出てこない項目がたくさんあります。<br/> 全体構成の整合性に欠けると思います。</p>   | 「第5節 本計画におけるごみ処理計画」の項目は、「ごみ処理基本計画策定指針（平成28年9月）」に基づいて構成しています。                                   |
| No.40 | 46    | <p>2) 発生抑制、排出抑制にかかる施策<br/> L3・・・「年度毎に策定する処理実施計画」<br/> これは、毎年策定していますか？？これから（31年度）から策定しますか？何ヶ年計画ですか？3力年？5力年？<br/> 「年度毎」はおかしいです、「年度別」、つまり複数年度に跨いで策定するのが「計画」の計画たる由縁だ、と思います。でなければ計画の継続性が保証できません。</p>  | ご指摘のとおりですので、第二次計画の策定を受けて、今後、年度実施計画を策定に施策の実現を図ります。  |
| No.41 | 46    | <p>3) 収集体制<br/> 現状とは、どう言う体制でしょうか？それを記述した上で、・・・今後の収集業務の「完全民間委託」化を焦点にして、推進計画を立てるべきだと思います・・・少なくとも「現状のまま」は、困ります。<br/> 「維持」とはどういう意味ですか？民間委託をこれ以上進めない、という意味でしょうか？現状分析にも、課題にも記述されなかった項目です。</p>  | ご指摘のとおり、修正いたします。   |